

製品名: CRTC1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03451**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 67 kDa; Observed MW: 78 kDa

抗原情報

遺伝子名	CRTC1
別名	MECT1; TORC1; WAMTP1; FLJ14027; KIAA0616; CRTC1
遺伝子 ID	23373
SwissProt ID	Q6UUV9
免疫原	ヒト TORC1 の合成ペプチド

背景

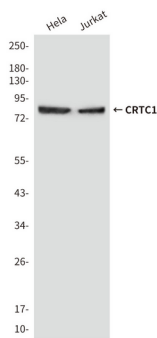
MECT1 (Mucoepidermoid Carcinoma Translocated 1 と呼ばれる) は、コンセンサスおよびバリエーション cAMP 応答配列 (CRE) 部位の両方を介して転写を活性化する CREB1 の転写共役因子として機能します。MECT1 は CREB1 の DNA 結合活性を調節しないよ

うですが、CREB1 と TAF4/TAFII-130 との相互作用を促進します。MECT1 は MAML2 (MasterMind-Like Protein 2) と転座し、融合がん遺伝子 t(11;19) (q21;p13) を生成します。この転座は、粘表皮がん、良性ワーシソ腫瘍、および明細胞汗腺腫で発生します。結果として生じる新規融合産物は、Notch シグナル伝達経路を阻害します。この融合タンパク質は、MECT1 の N 末端と MAML2 の C 末端が結合したもので構成されています。MAML2 の N 末端と MECT1 の C 末端が相互融合したタンパク質が、少数の粘表皮癌で検出されています。MECT1 タンパク質には複数のアイソフォームが報告されています。組織特異性: 成人および胎児の脳で高発現しています。前頭前皮質や小脳などの特定の領域に局在しています。心臓、脾臓、肺、骨格筋、唾液腺、卵巣、腎臓などの他の組織では、発現が非常に低いです。

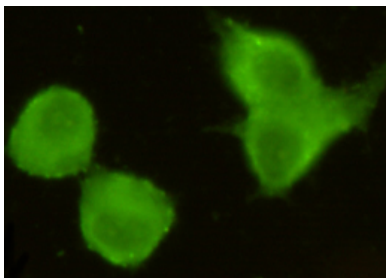
研究分野

シグナル伝達

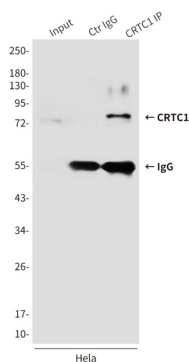
画像データ



MECT1 / Torc1 抗体を使用した HeLa および Jurkat 溶解物中の MECT1 / Torc1 のウェスタンプロット分析。



MECT1 / Torc1 抗体を使用した HeLa の CRTC1 の免疫細胞化学分析。



MECT1 / Torc1 抗体を使用した HeLa 細胞溶解物中の CRTC1 の免疫沈降分析。

CRTC1 抗体（赤）を用いた K562 細胞における CRTC1 のフローサイトメトリー解析。
青線のヒストグラムはアイソタイプコントロールを表す。

